

九州森林管理局交渉 (全国林野関連労働組合 九州地方本部)

(議事要旨)

1 日時 平成28年12月7日(水) 17:30~18:30 (60分)

2 場所 九州森林管理局4階会議室

3 出席者

九州森林管理局	総務企画部長	堂本	整
〃	計画保全部長	吉永	俊郎
〃	森林整備部長	大政	康史
〃	総務課長	山本	博
〃	森林整備課長	古閑	博行
〃	資源活用課長	西	栄二
〃	総務課長補佐(総務担当)	松永	眞弥

全国林野関連労働組合九州地方本部	執行委員長	甲斐	和幸
〃	副執行委員長	加藤	吉征
〃	書記長	山下	和也
〃	執行委員	山口	隆志
〃	執行委員	古澤	寿光
〃	執行委員	中島	純也

4 交渉事項

- (1) 平成29年度事業量等に伴う労働条件について
- (2) 事業運営経費等の確保について
- (3) 円滑な業務運営に係る事業実行体制の確保について

5 議事概要

- (1) 平成29年度事業量等に伴う労働条件について

組合) 平成29年度の事業量については、対前年度比からすると増加すると聞いている。

事業を進めていくうえでは各署の現場要員の実態に応じた事業量が前提であり、現状の要員状況では、職員の負担が増加するのではないかと不安視する声も聞こえているので、職員に不安を抱かせないような取り組みをお願いします。

当局) 現段階では、平成29年度の事業量は確定していないが、過度に職員の負担増とな

らないよう署等と事業量を調整したい。また、職員が不安を抱くことがないよう応援体制を整えるために、非常勤職員等を雇用する予算の確保に努めて参りたい。

(2) 事業運営経費等の確保について

組合) 職員の労働条件に影響する事業運営経費と旅費、超勤等の予算確保をお願いします。

当局) 熊本地震の対応により平成 28 年度の旅費、超勤等は昨年より増となっている。今後、効率的な事業運営に努めるとともに必要額の確保に努めて参りたい。また、平成 29 年度の事業運営経費等については、職員の労働条件に悪影響が出ないよう予算確保に努めて参りたい。

(3) 円滑な業務運営に係る事業実行体制の確保について

組合) 空きポストが増加している傾向にあることから、職員の労働過重とならないよう空きポストの解消をお願いします。

当局) 現在、空きポストが 44 ある中、職員の皆さんに多大なご協力を頂いていることは認識している。現職員の年齢構成やグレードの状況からすると、すぐには空きポストを解消することはできないが、引き続き九州局の現状を林野庁へ伝えて参りたい。

また、森林技術員の減少に伴い森林官等の負担も増加することも考えられることから、現場の臨時職員を雇用する予算の確保を含め、人員配置など職員が労働過重とならないよう努めて参りたい。